



公開 令和 6 年 2 月 26 日

部署名 総合政策部 企画経営課

氏名 近藤 政則

TEL 072-452-9016

E-mail kikaku@town.kumatori.lg.jp

令和 6 年度予算の概要及び主な施策

- 1 令和 6 年度一般会計・特別会計予算額・・・ 1
- 2 令和 6 年度一般会計予算の概要・・・・・・・・・・ 2～4
- 3 令和 6 年度に実施する主な施策・・・・・・・・・・ 5

令和6年度一般会計・特別会計予算額

一般会計	158億1,217万円 [対前年度比1.7%増]
国民健康保険事業特別会計	48億3,524万4千円 [対前年度比1.0%減]
後期高齢者医療特別会計	9億4,504万1千円 [対前年度比15.2%増]
介護保険特別会計	41億1,836万7千円 [対前年度比1.1%減]
墓地事業特別会計	4,063万9千円 [対前年度比0.6%減]
下水道事業会計	23億5,784万7千円 [対前年度比5.2%減]
<hr/>	
総額	281億930万8千円 【対前年度比0.6%増】

令和6年度一般会計予算の概要

1. 対前年度比較

(単位：千円、%)

\		令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	増減率
歳入歳出予算総額		15,812,170	15,543,165	1.7
投資的経費		1,150,140	1,556,905	△26.1
主な 基金 繰入 額	公共施設整備基金	300,000	280,000	7.1
	財政調整基金	450,000	440,000	2.3
	減債基金	200,000	200,000	—
	くまとりふるさと 応援基金	740,000	540,000	37.0

2. 予算の特徴

【全般】

令和6年度当初予算については、予算編成作業が町長選挙と重なったため、経常的経費、及び政策決定済みの事業実施に係る経費を中心とした骨格予算としているが、予算総額は15,812,170千円で、前年度当初予算と比べ、269,005千円、1.7%の増加となっている。

増加の内訳については、歳出において、投資的経費が406,765千円減少したものの、人件費が381,268千円、扶助費が251,581千円増加したことなどにより、歳出全体としては、269,005千円の増加となっている。

歳入においては、町民税において国の定額減税により個人住民税が減少しているが、この減収については、全額が国費である地方特例交付金により補てんされる。また、地方交付税については、地方財政計画の見通し等を踏まえ一定増加しているが、一方で臨時財政対策債が減少した形になっている。

その結果、歳出の増加が歳入を上回り、その財源不足に対応するため、財政調整基金などから繰入れを行うことで、収支の均衡を図っている。

歳入歳出の主な内容は以下のとおりである。

【歳入】

- ① 町税については、町民税において、個人住民税が対前年度比△188,377千円、8.7%の減少、法人住民税が対前年度比1,012千円、0.9%の増加となっている。
固定資産税については、対前年度比24,157千円、1.5%の増加となっており、軽自動車税については、対前年度比△1,515千円、1.2%の減少となっている。
その結果、町税全体では、対前年度比△159,832千円、3.8%の減少となっている。
- ② 地方特例交付金については、個人住民税の定額減税に伴う減額の補てん分を計上したため、対前年度比189,000千円、315.0%の増加となっている。
- ③ 地方交付税については、地方財政計画の見通し等を踏まえつつ、前年度実績及び税收等の影響を加味し、対前年度比112,000千円、3.2%の増加、その代替的性格を持つ臨時財政対策債については、対前年度比△52,000千円、54.2%の減少となっている。
- ④ 国庫・府支出金については、文化ホール・公民館整備事業など投資的事業に係る国庫補助金が減少したことなどにより、対前年度比△175,246千円、4.6%の減少となっている。

【歳出】

- ① 人件費については、定年延長に伴う退職手当の増や、会計年度任用職員の勤勉手当の支給開始などにより増加し、対前年度比381,268千円、12.1%の増加となっている。
- ② 扶助費については、子ども医療費や施設型給付費の増などにより、対前年度比251,581千円、7.0%の増加となっている。
- ③ 物件費については、昨今の物価高騰の影響や、電子計算システム改修経費の増などにより、対前年度比12,561千円、0.5%の増加となっている。
- ④ 補助費については、保育事業補助金や消防組合負担金などが増加したものの、下水道事業会計繰出金の減などにより対前年度比9,445千円、0.6%の減少となっている。
- ⑤ 投資的経費については、主に、

○庁舎受変電設備改修工事	64,966千円
○環境センター回転式破砕機回転体更新	28,688千円
○ヨシ池耐震対策地質調査実施設計業務	40,711千円
○朝代新池耐震対策工事	32,670千円
○美穂出橋橋梁修繕工事	45,600千円
○熊取駅東西自由通路昇降設備等修繕工事	55,400千円
○奥山雨山自然公園施設更新工事	37,000千円
○西小学校外壁改修工事	134,088千円

などを計上している。

3. 歳入の主な増減

(単位：千円、%)

項目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減額	増減率
町 税	4,038,691	4,198,523	△159,832	△3.8
地方特例交付金	249,000	60,000	189,000	315.0
地方交付税	3,589,000	3,477,000	112,000	3.2
国庫・府支出金	3,674,954	3,850,200	△175,246	△4.6
繰入金	1,996,309	1,484,098	512,211	34.5
町 債	383,000	600,300	△217,300	△36.2

4. 歳出の主な増減

①目的別

(単位：千円、%)

項目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減額	増減率
総務費	1,902,585	1,623,238	279,347	17.2
民生費	7,213,142	6,711,760	501,382	7.5
衛生費	1,468,239	1,608,103	△139,864	△8.7
土木費	1,227,515	1,388,266	△160,751	△11.6
教育費	1,751,066	2,221,679	△470,613	△21.2
公債費	969,025	895,541	73,484	8.2

②性質別

(単位：千円、%)

項目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減額	増減率
人件費	3,528,450	3,147,182	381,268	12.1
扶助費	3,866,395	3,614,814	251,581	7.0
公債費	969,025	895,541	73,484	8.2
物件費	2,563,890	2,551,329	12,561	0.5
維持補修費	242,031	252,210	△10,179	△4.0
補助費等	1,594,643	1,604,088	△9,445	△0.6
繰出金	1,865,522	1,802,182	63,340	3.5
投資的経費	1,150,140	1,556,905	△406,765	△26.1

令和6年度に実施する主な施策

社会情勢の変化に的確かつ迅速に対応しながら、「人にやさしいまち」「楽しめるまち」「希望をもてるまち」をまちづくりの基本理念として、各分野できめ細かな施策を展開し、持続可能な町政運営を推進する。

予算編成時期が町長選挙と重なったため、骨格予算であるが、政策決定済みの施策については、当初予算に計上している。

※事業名称及び事業費については、予算書の事業別予算額とは一致しない場合がある。

①教育支援センターの設置【教育支援センター運営事業 4,654 千円】

不登校児童・生徒全ての学びの場を確保し、誰一人取り残さない学びの保障に向けた取組を推進するため、新たに「教育支援センター」を教育・子どもセンター内に設置する。

②町立全小中学校の体育館へのエアコン設置【小学校施設整備事業 27,447 千円】

児童生徒の教育環境を改善するとともに、災害時に避難所として快適に過ごしていただくため、令和6年度に全町立小学校（5校）の設計業務を進め、小学校体育館にエアコンを順次設置していく。また、小学校に引き続き、全町立中学校（3校）の体育館についても計画的に設置していく。

③町内民間保育園に就職した保育士への支援金の給付【民間保育所等助成事業 2,400 千円】

保育士の確保が課題となっている町内民間園に就職した保育士へ、支援金を支給することにより、民間園の保育士の確保を支援し、子どもの受け入れ促進に努める。

【制度の枠組み（1人あたり最大50万円）】

就職年次	1年目	2年目	3年目	合計
支援金額	20万円	15万円	15万円	50万円

④文化ホール「愛称：キターネホール」、公民館「愛称：かむかむプラザ」のオープン

【文化ホール運営事業 44,291 千円】【公民館運営事業 17,213 千円】

令和2年度より進めてきた文化ホール・公民館整備事業が完了し、3月16日の竣工記念式典、開館記念事業の後、4月1日から一般利用を開始する。

新築する文化ホールは、本格的な舞台設備と音響性能を備え、間近で文化芸術を感じていただくことができるホールであり、幅広い世代の方が楽しめる文化公演を企画していく。大規模改修を行った公民館は、1階に新設した「文化交流ラウンジ」と「まなびのルーム」など、親子連れの方や、児童・生徒の自習スペースとして、気軽に、あらゆる世代の方の多様な活動に利用いただける施設に生まれ変わった。公民館事業についても、人気のあった講座に加え、新たな講座を企画していく。

⑤認知症の方の見守り体制の充実【包括的支援事業 110 千円】

認知症の方が行方不明となった際に、地域で協力して早期発見につなげる「熊取町徘徊高齢者等 SOS ネットワークシステム」の申請者に対し、新たに「見守り QR コードシール」を配布し、発見された方の衣服や靴などに貼ってある QR コードを読み取ると、警察や町の連絡先が表示され、早期につながる仕組みを導入し見守り体制の充実を図る。